学校番号	3010

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　精選古典探究(第一学習社)						
副教材等	要点プラス体系古典文法（数研出版）・読んで見て覚える重要古文単語３１５（桐原書店）・漢文句法・演習ドリル（旺文社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典を読む楽しさを味わい、作品を通じて、古来の人間、社会、自然などに対する思想や感情を捉え、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて豊かにします。二年生は、古文や漢文の基礎的な文法学習を中心に進めていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 ［教材］ 古今著聞集	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［　読　］：説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して展開や内容を的確に捉える。 c：積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えようとした歌人のありようについて考えを深める。 ・積極的に説話を読み、編者の考えを整理して内容を解釈し、それを評価しようとしている。 ［教材］ 沙石集	a：主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 b［　読　］：著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えようとした歌人のありようについて考えを深める。 c：助動詞「き」「けり」の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・『古今著聞集』『沙石集』と読み比べ、和歌を含んだ説話の特質について積極的に理解を深めようとしている。 ［教材］ 今物語	a：主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 b［　読　］：編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成、展開を的確に捉える。 c：助動詞「る」「らる」の意味を理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ［教材］ 推敲・呉越同舟・嬰逆鱗	a：文語のきまりについて理解を深める。 b［　読　］：書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
2	・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・歌物語の特徴について理解を深める。 ［教材］ 伊勢物語	a：文語のきまりについて理解を深める。 b［　読　］：・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しなが	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 授業態度

	ら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う ［教材］ 方丈記	b[　読　]:和漢混淆文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。		ワークシート	
	・史伝という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 鼓膜撃壌	a:古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 b[　読　]:書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現を的確に読み取る。 c:積極的に史伝を読み、登場人物の言動からうかがえる古代中国の理想的政治のあり方を捉えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・訓読のきまりについて理解を深める。 ・作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。 ［教材］ 莫敢飾詐	a:戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、王が二人の大夫に下した判断の理由を読み取る。 a:夫に下した判断の理由を読み取る。 b[　読　]:作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。 c:王が二人の大夫に下した判断の理由を、文章に即して理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
3	・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ［教材］ 徒然草	a: 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 b:[　読　]:争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 c:　随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・内容・形態によって三つに大別される章段のそれぞれを読んで、文章に表れたものの見方や考え方を理解する。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ［教材］ 枕草子	a:「木の花は」「二月つごもりごろに」では、我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 b:[　読　]:・自由な文体の随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:漢詩文と関わりのある章段を読み、我が国の文化と中国の文化との関係について、積極的に理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・漢詩を鑑賞して、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ［教材］ 独坐敬亭山・秋風引・九月九日憶山東兄弟・磧中作	a: 漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 b:[　読　] 作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について的確に捉える。 c:漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　　…　（　0　）時間
・読むこと　　…　（　70　）時間